



研修の様子を紹介します

教科リーダー育成講座（小・中・特）1日目 5月30日（月）

本講座は、小・中・特別支援学校の教職7年目以降の教員を対象として、教科の専門性を高め各地区で教科指導のリーダーとなる人材育成を目的とした講座です。受講者は、今後新設される教科教育専門監の候補となります。講座1日目は、教科ごとに「学習指導要領の趣旨の実現」の観点から、大学教授の講義を受けました。講義では、最新の授業実践事例等を学び、教科の専門性のさらなる伸長を図りました。また、受講者どうしの協議では、地域の教科指導の手本となる授業を目指し、各自が作成してきた学習指導案について少人数で協議をしました。今後は、授業公開（2回）、授業参観（2回）、研修のまとめを予定しています。



大学教授の講義の様子



グループ協議の様子

受講者の声

帰納的に考えたり、それを演繹的な考えに繋げたりする手立てについて、講義を通して改めて確認することができました。

同じ教科の受講者と意見交換をしたり、担当指導主事の先生からの具体的な指導をいただいたりすることで、実践への意欲が増しました。

教科指導力向上研修(高等学校) 1日目 6月17日（金）

本講座は、高等学校教諭を対象とした、教科指導力の向上を目的としたオンライン型の研修です。今回の研修では、聖心女子大学の益川弘如教授から「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点」と題して御講義をいただきました。その後の教科部会では、受講者どうしで協議を行い、各自の課題を明確化するとともに、改善すべき点や授業構想のためのアイデアを出し合いました。

今後は、学習指導案を作成し、それを基に授業実践を行う予定となっています。



受講者の声

「答えさがし」ではなく、「答えづくり」ができるような仕掛けを自分でも考えてみたいと思いました。

協議を重ねる中でやらなければならないことに気づくことが非常に多くあり、実りある研修となりました。

当センターが行っている調査・研究を紹介しています。第3回は、「キャリア教育」と「道徳教育」です。

キャリア教育

令和4年度第1回キャリア教育指導者養成研修での2つの内容について紹介します。

計画立案のポイント

キャリア教育の計画立案のポイントを2つ紹介します。一つ目は、基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の考え方についてです。すべての活動に4つの資質・能力にそれぞれ当てはめがちですが、空欄があってもよいということです。4つのうちの一つの能力が高まることで、他の能力も自然に高まるイメージです。

2つ目は、計画立案の際、対象の実態や特性を把握し、それに対応した計画をつくることです。実態把握には、新たにアンケート等を実施するなどをしがちですが、その前に、今あるものの活用を考えることが大事です。例えば全国学力学習調査の質問結果などで使えるものを探してみましょう。

キャリア・パスポートの活用事例

キャリア・パスポートを活用するとき大事なことは、ポートフォリオ的に蓄積したデータのうちどれを残していくかを考えることです。ここでの振り返りが成長を促すということです。

【事例】

ある小学校では、5枚をパスポートに残していきます。その内訳は、1枚が年度末に行う1年間の振り返りシートです。書き溜めたシートを振り返り、本人がこれを残したいというシートを3枚残します。最後の1枚は、担任が児童の様子をみて「これ」というシートを残します。児童は自己評価とともに他者がみた観点から学ぶことができます。

道徳教育

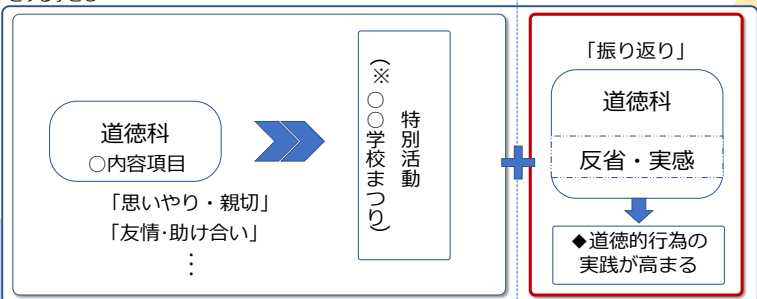
道徳科と特別活動などの行事を意図的、計画的につなぎ、振り返りまでの一連の流れを構築します。これをユニット構想（下図参照）として新たに定義し、子どもの道徳的行為の実践力の高まりなどについて、協力校（小学校と中学校）と検証を行います。この取組による教育効果については、今後、教育フォーラム等の機会を通して情報発信します。

また、高等学校においては、道徳的な実践力をさらに高められるような道徳教育の指導計画について、今年度は、協力校（高等学校）と協議・検討を行い、次年度に具体的な指導計画について提案していきます。

【ユニット構想】

<めざす子ども像>

○親切にすることの大切さに気付き、相手の気持ちを思いやるやさしい心をもって、周りの人と進んでふれあおうとする子ども



○実感を伴った道徳教育にしていくためにも、「振り返り」までを含んだユニットを展開していくことを提案。

小中高と継続的に子どもの道徳性を育てていくことは大切な視点です。

ユニット構想を実践する中で、児童生徒の道徳性を養う方法について研究を進めていきます。